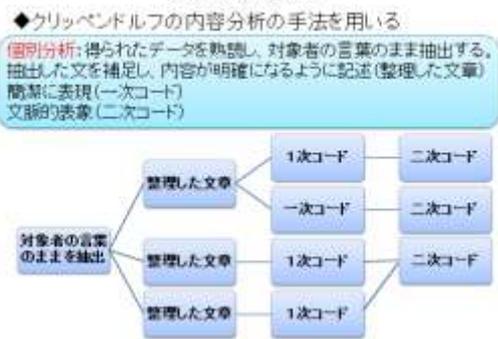


申請者	学科名	看護学科	職名	准教授	氏名	名越恵美 印
調査研究課題	意思決定支援に関わる化学療法認定看護師の実践知					
交付決定額	220千円					
調査研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	名越恵美	看護学科・准教授	成人看護学	研究統括・分析・まとめ	
	分担者	門倉康恵	岡山県立大学大学院学生・松田病院	がん看護学	データ収集・分析	
調査研究実績の概要	<p>H26年度 独創的研究は、ほぼ予定通りに実施できた。</p> <p>4月から6月にかけて先行研究を概観し、インタビューガイドを作成した。また、岡山県立大学倫理委員会へ提出し、承認を受けた。倫理委員会承認後に7月から9月にかけてインタビューを実施した。対象者は、岡山県内と広島県内の中規模・大規模病院の外来化学療法室に勤務する化学療法認定看護師を対象に面接調査を行った。書面にて同意の得られた参加者にインタビューガイドに沿って半構造化面接を行なった。当初10名を予定していたが、内容の飽和化が見られたため9名で面接を終了した。その後、9月から12月にかけてデータの分析と構造化を行った。当初M-GTAの手法を用いたが、データ数が膨大になることを鑑み、内容分析の手法に変更した。</p> <p>H27年1月からは成果発表に向けて準備を行っている状況である。以下内容を述べる。</p> <p>【はじめに】患者はがんと告知されると、死に直面する病気に罹患したという衝撃の中で、治療法など今後自分ががんとどのように向き合っていくか決定していかなければならない。したがって看護師が、患者の自己決定を支援することは、病気を受け入れ向き合うということに重要な役割を果たす。がん医療は意思決定の連続であり、日本の先行研究を概観すると、がん患者が行う意思決定は「治療選択」「外来化学療法移行」「外来化学療法中のジレンマ・負担」「転移や増悪した場合の治療継続」「緩和及び療養の場の選択」が見られた。</p> <p>【目的】本研究は、がん患者・家族の意思決定を行う化学療法認定看護師の実践知を明らかにすることを目的とする。</p>					

調査研究実績  
の概要

分析方法①



分析方法②



【方法】参加者は、外来化学療法室に勤務する化学療法認定看護師である。データの収集方法: 書面にて同意の得られた参加者にインタビューガイドに沿って半構造化面接を行なった。インタビュー内容は録音し、データとして逐語録を作成した。実践知を明らかにすることから、クリップペンドルフの「質的研究の手法を用いて分析した。

【結果】研究参加者の平均年齢は39歳(34-53歳)で全員女性であった。看護師歴は平均16.4年(10-31年)、化学療養室の勤務歴は平均4.9年(1-9年)であり、化学療法認定看護師歴は4.3年(1-9年)であった。所属施設での外来化学療法を受ける1日の患者数は、2名~27名であった。分析の結果《揺れ動く患者・家族の希望を理解》《限界やあきらめの存在》《認識の相違やジレンマを自覚》《闘病意欲を支援》《生活・症状のセルフマネジメント》《患者のニーズに応じた情報提供》《治療決定に向けて補足説明》《患者を取り巻く人々との関係調整役割》の8カテゴリーが抽出された。

【考察】認定看護師は《揺れ動く患者・家族の希望を理解》し、患者・家族の《限界やあきらめの存在》を知り、患者と医療職の《認識の相違やジレンマを自覚》していた。その中で、《闘病意欲を支援》しつつ《治療決定に向けて補足説明》し、《生活・症状のセルフマネジメント》の必要性を患者に指導するために《患者のニーズに応じた情報提供》《患者を取り巻く人々との関係調整役割》を行っていた。

【結論】外来化学療法認定看護師の実践知として、患者・家族の意思決定支援を行う上で、《揺れ動く患者・家族の希望を理解》し、その揺れに沿いながら前向きに意思決定できるよう支援しようとしていることが明らかとなった。医療者として化学療法の限界を知りながら、治療を継続する患者の不安を払しょくするために患者のニーズに応じた情報提供と患者・家族からの情報を得るための関係構築が必須であることが示唆された。

本研究における認定看護師の実践知は、看護実践に限局されていたことが研究の限界である。今後の課題として、認定看護師の業務として患者への看護実践だけでなく、看護師への教育と相談があるが、自己の看護実践を活かすつどのように一般看護師へ関わろうとしているかを明らかにする必要がある。

本研究の一部は、平成27年度11th Asia Pacific Hospice Conference (Taiwan2015.05)への発表が決定している。また、平成27年度第30回がん看護学会学術集会(千葉2016.02)へ発表予定である。

成果資料目録

1. 11<sup>th</sup>APHC抄録